

学校だより



春里



平成30年(29年度)3月1日号

学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校

## 旅立ちに向けて

校長 松井秀史

正門前にある紅白の梅が咲き誇り、日差しはぬくもりを増して春はもうすぐそこに来ていると感じさせてくれます。平成29年度がもうすぐ終わろうとしています、何かやり残したことがあるのではないかと気ばかり焦ってしまう毎日です。今年度も春里中学校の生徒は素晴らしい力を発揮してくれました。校庭では桜が咲く準備を始めているようです。



### 旅立ちに向けて

義務教育を終え、迷いながらも自分の夢に向かって旅立とうとしている3年生と「校長面談」をしました。内容は「あなたの夢は何?」「春里中学校での一番の思い出は?」「春里中学校ってどんな学校?」等です。一人一人と話をしながら、不安を感じながらも自分の道を進んでいこうとする力強さを感じることができました。しっかりと人生を歩んでいってほしいと願っています。

### 夢・春里中での思い出

「アメリカへ行ってみたい」「父の家業を継いで一緒に働きたい」「サッカー選手になってスペインでプレーしたい」「親孝行したい」他いろいろな夢を語ってくれました。中には「中学の教員になって春里中みたいな学校を作りたい」なんて嬉しいことを言ってくれる生徒もいました。皆、夢に向かって努力を続けてくれることでしょう。

「春里中での思い出」を聞くと「体育祭・合唱コンクール・館岩スキー教室・修学旅行」が多く出てきました。行事を通して、友人や教員との絆を深め、悩み喜びながら成長できてきたのだと感じました。友人とけんかして仲直りしたことや先生に叱られたり褒められたりしたこと等何気ない学校生活の一コマ一コマが子供たちの経験となり、栄養となっていることを実感しました。

### 春里中学校はどんな学校?

「春里中学校はあいさつがよくできる学校です!」と多くの生徒が話してくれました。私もそう思います。春里中生のあいさつは相手を心地よくさせる本物と言えるでしょう。家庭や地域と学校が同じ歩調で指導している結果が子供たちの素晴らしいあいさつにつながっているのです。それから「行事に燃える春里中!」「無言清掃をしっかりとやるのできれいな学校!」と言ってくれました。これも本校の誇れるところです。生徒も教員も真剣に取り組む行事や清掃は春里中学校の特徴となっています。「歴代の先輩方が作ってきた伝統をより一層発展させていってほしい。」という後輩への一言を3年生から聞きました。その言葉に春里中学校への愛情を感じ、胸が熱くなる思いでいっぱいになりました。心から「卒業おめでとう」と言いたいです。



### 桜咲く「サクラサク」

「サクラサク」は、大学入試で合格を告げる電報の文言だった、というのは有名な話ですが、中学3年生の公立高等学校受検が3月1・2日に行われます。今まで努力を重ねて培ってきた実力を十分発揮してくれることを願っています。大切なことは結果ではなく、それまでの努力と結果に対するその後の取組です。まずは結果を恐れずに逃げることなく挑んで欲しいと思います。

### ちょっと一言・・・

平成29年度もあと少しとなりました。たくさんの方々へ感謝しながら一年を終えることができます。ありがとうございました。これからも、愛される春里中でいられるようによろしくお願いいたします。

